

貴自治体名 田原市

懇談日時 10月 24日(水) 午後 2時 00分～ 3時 00分

懇談会場 大会議室 ※会場が確定している場合はご記入ください。

## 2012年自治体キャラバン請願・陳情項目についてのアンケート

### 【1】1. 地域主権改革

- ① 県条例(政省令)を上回る基準の策定を予定しているものはありますか。  
 (○) ない  ( ) あり → 具体的には ( )
- ② 県条例(政省令)を下回る基準の策定を予定しているものはありますか。  
 (○) ない  ( ) あり → 具体的には ( )
- ③ 現行基準が政省令(県条例)を上回っている基準はどうしますか。  
 ( ) 現行どおりとする  ( ) 政省令(県条例)に合わせる  
 (○) その他 → 具体的には( 現行基準と政省令等の基準を総合的な観点から精査した上で判断)

### 【2】1. 介護保険及び高齢者福祉施策

- ① 保険料の市町村独自の減免措置がありますか。  
 ( ) ない  (○) あり → 実施年月(2004年 4月)2011年度実績( 18 )件( 192 )千円
- ② 利用料の市町村独自の減免措置がありますか。  
 (○) ない  ( ) あり → 実施年月( 年 月)2011年度実績( )件( )千円
- ③ 特別養護老人ホームの待機者は、何人ですか。 (256)人( 2011年 6月現在)
- ④ 介護給付費準備基金について  
 2010年度末の残高( 439,925 )千円  
 2011年度末の残高( 321,116 )千円 ※決算前の場合は見込み額を記入
- ⑤ 第5期計画への準備基金取り崩しについて  
 1) 取り崩し総額は( 200,000 )千円  
 2) 一人当たり金額は( 355 )円
- ⑥ 住宅改修の受領委任払い制度を実施していますか。  
 ( ) 実施している → 実施年月日( 年 月 日) 2011年度実績( )件  
 ( ) 検討中である  (○) 実施の予定がない
- ⑦ 福祉用具の受領委任払い制度を実施していますか。  
 ( ) 実施している → 実施年月日( 年 月 日) 2011年度実績( )件  
 ( ) 検討中である  (○) 実施の予定がない
- ⑧ 配食サービスについて、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

配食方式	実施の有無	<input type="checkbox"/> (○) 実施している <input type="checkbox"/> ( ) していない <input type="checkbox"/> ( ) 検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	週 5 回 昼
	1日平均利用者数(2011年度)	総延べ食事数( 13,006)食 ÷ 年間配食日数( 244)日 = 1日当たり平均( 53 )食
	1食あたりの助成額	210 円
	1食あたりの利用者負担額	500 円
会食方式	実施の有無	<input type="checkbox"/> ( ) 実施している <input type="checkbox"/> ( ) していない <input type="checkbox"/> (○) 検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	
	月平均利用者数(2011年度)	
	1食あたりの助成額	
	1食あたりの利用者負担額	

- ⑨ 独居・高齢者世帯へのゴミ出し援助について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

実施の有無	<input type="checkbox"/> ( ) 実施している <input type="checkbox"/> (○) していない <input type="checkbox"/> ( ) 検討中である
対象事業の名称	
対象者の要件	
1カ月平均利用者実数(2011年度)	

⑩住宅改修の独自の助成制度について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

助成制度の有無	( <input type="radio"/> )助成制度がある ( <input type="radio"/> )助成制度はない ( <input type="radio"/> )検討中である		
制度内容	( <input type="radio"/> )介護保険に上乗せして実施している		
	上乗せの助成額		
	利用者実数(2011年度)		
	( <input type="radio"/> )介護保険利用者以外の助成制度がある		
	対象者と、その要件	65歳以上の方がいる世帯	
助成額	20万円	利用者実数(2011年度)	43件

⑪ひとり暮らし、高齢ふたり世帯などへの安否確認、見守り、買い物などの生活支援の施策を実施していますか。ある場合は、支援内容をご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター・民生委員による見守り、安否確認</li> <li>・自治会に対し、ひとり暮らし高齢者の見守り活動として福祉活動奨励金(算定基準:一人暮らし高齢者1人当たり年間3,000円)を助成している</li> </ul>
---

⑫高齢者や障がい者への、外出支援のための施策についてお尋ねします。

1)巡回バス・福祉バスなどを実施していますか。

(  )実施している

→ 利用料:高齢者< 歳以上>( )円、障がい者( )円、一般( 100 )円  
その他の外出支援策(バス・電車券の交付、福祉有償運送利用券の交付 )

(  )実施していない

2)タクシー代を助成する制度がありますか。ある場合は、助成内容をご記入ください。

対象者:70歳以上 タクシー券 500円券×12枚=6,000円 対象者:1・2級の下肢・体幹・視覚障がい者及び1級の内部障がい者、A判定の知的障がい者、1・2級の精神障がい者 タクシー券 500円券×12枚×2回=12,000円
--

⑬宅老所・街角サロンなどの高齢者のたまり場事業に助成金を出していますか。(社会福祉協議会の助成は含めないでください)

(  )助成している →1施設当たり助成額 月額( )円 または 年額( )円  
または 1回限り( )円 → 助成カ所数( )カ所

(  )検討中である

(  )助成の予定がない

⑭介護認定者の障がい者控除の認定について

1)認定書の発行枚数(2011年度実績)は ( 47 )枚

2)介護認定者に障がい者控除の申請書または認定書を送付していますか。

(  )申請書を送付している → 2011年度( )件

(  )認定書を送付している → 2011年度( )件

(  )送付していない。

3)認定書の発行の条件

(  )介護認定者のうち、要支援2以上は基本的に発行している

(  )介護認定者のうち、要介護1以上は基本的に発行している

(  )医師の証明書(意見書)の提出の上、判断している

(  )介護認定時の認定調査票または主治医の意見書で判断している

(  )次のような方法で判断している( )

⑮要支援の介護認定者への、障害福祉サービスの上乗せについて

(  )実施している (  )実施していない

## 2. 高齢者医療など

①高額医療・高額介護合算療養費の支給について、該当者に個別に通知等していますか。

1)後期高齢者の場合

(  )自動払いしている (  )申請書を送付している

(  )ハガキ通知をしている (  )通知していない

2) 国民健康保険の場合

- ( ) 自動払いしている ( ) 申請書を送付している  
( ○ ) ハガキ通知をしている ( ) 通知していない

② 後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度について、愛知県が補助基準から外した「ひとり暮らしの非課税者」を引き続き対象にしていますか。

- ( ○ ) 対象にしている ( ) 縮小して対象にしている ( ) 県基準どおりにした

③ 上記②以外に愛知県の補助基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。

後期高齢者医療加入者で自立支援受給者は、指定医療機関で支払った自己負担分を償還払。

④ 2012年8月1日現在の対象者

後期高齢者医療受給者 ( 8,213 )人

後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度対象者 ( 1,505 )人

内 ひとり暮らし非課税者( 393 )人

その他の県基準を上回る市町村独自対象者( 9 )人

3. 子育て支援策 ※2012年9月1日現在をご記入ください。

① 子どもの医療費助成制度を、愛知県の基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。(対象年齢、対象者、入院・入院外の区分、現物給付・償還払の区分、所得制限など)

小学1年生から中学3年生までの通院医療費の一部負担金の全額を現物給付。所得制限なし。

② 就学援助

1) 保護者への広報はどのようにしていますか。

- ( ○ ) 入学説明会 ( ) 入学式 ( ) 始業式 ( ○ ) ホームページ ( ) 市広報  
( ) その他( )

2) 就学援助の認定対象基準をご記入ください。

生活保護基準額の( 1.25 )倍

そのほか

3) 就学援助の対象となる認定基準額または所得基準額(年額)をご記入ください。

・2人家族(母30歳代、子ども小学生の場合) … ( 1,771,065 )円

・4人家族(父母は30歳代、子ども小学生と4歳児の場合) … ( 2,713,980 )円

4) 申請書の受付先 ( ) 市町村窓口 ( ○ ) 学校 ( ) 市町村窓口と学校のどちらでも可

5) 民生委員の証明は必要ですか ( ) 必要である ( ○ ) 必要ない

6) 就学援助受給者数・予算額をご記入ください。

	2011年度	2012年度
受給者数	337人	303人
受給割合	5.9%	5.5%
支給額	23,136,179円	23,209,250円

※受給割合は、小数点第1位までご記入ください。

※2012年度の支給額は見込み額をご記入ください。

7) 就学援助家庭の給食費の支払い方法 ( ) 現物支給 ( ○ ) 償還払い ( ) その他

8) 就学援助の項目について

( ○ ) 学用品費 ( ) 体育実技用具費 ( ○ ) 入学準備金 ( ○ ) 通学用品費 ( ) 通学費

( ○ ) 修学旅行費 ( ) クラブ活動費 ( ) 生徒会費 ( ) PTA会費 ( ○ ) 給食費

( ) 校外活動費(宿泊を伴わないもの) ( ) 校外活動費(宿泊を伴うもの) ( ) 医療費

( ) 日本スポーツ振興センター掛け金 ( ) めがね・コンタクトレンズ ( ) 卒業記念品

( ) その他( )

③学校給食について(2012年度)

1) 給食の実施状況

	全校数	自校方式実施数		センター方式実施数		1食当たりの給食費
		直営	委託	直営	委託	
小学校	20校	11校	9校	9校	9校	229、225円
中学校	7校	3校	4校	4校	3校	265、255円

2) 給食費への自治体独自の補助などの施策 (例:半額補助、第2子以降無料など)

なし

④放射線被ばくから子どもを守る施策について

1) 学校給食の食材の安全、健康検査など子どもを被ばくから守る自治体独自の施策

平成24年9月から実施  
 17都県産の食材のうち23年7月以降の放射能検査で基準値を超えた食材について、同都県産の同食材が納入された場合に、放射線を測定する。  
 異常があったときには使用を中止し、放射能検査(外部委託)を実施する。

2) 食材用放射線測定器を自治体で所有していますか。また購入予定はありますか。

(  )すでに購入している (  )購入の予定 (  )購入の予定はない

3) 自治体独自で食材の放射線量測定の検出限界値(基準値)などの設定をしていますか。

(  )設定している (  )設定していない

⑤ 女性、特に妊産婦や高齢者などに配慮した避難所づくりは怎么样了か。

間仕切りなどによるプライバシー保護や女性・高齢者用トイレなどの充実を図って行きます。

4. 国民健康保険

①国保保険料(税)(医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計)について

	区分	定義	2010年度	2011年度	2012年度
保険料・税率	所得割	( 所得金 )額	× ( 5.6 )%	× ( 5.6 )%	× ( 5.6 )%
	資産割	固定資産税額	× ( 38 )%	× ( 38 )%	× ( 38 )%
	均等割	加入者1人につき	37,200円	37,200円	37,200円
	平等割	1世帯につき	38,400円	38,400円	38,400円
1人当たり調定額(平均保険料)			100,766円	101,896円	96,545円
一般会計からの1人当たり法定外繰入額			6,511円	6,992円	7,234円

※2012年度の「一般会計からの1人当たり法定外繰入額」は、予算額をご記入ください。

②保険料(税)の市町村独自の軽減・減免制度

1) 市町村独自の低所得者減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

7・5・2割軽減世帯で、均等割・平等割のみ課税されている場合は、均等割・平等割を1割減免。  
 7・5・2割軽減非該当世帯で、均等割・平等割のみ課税されている場合は、均等割・平等割を2割減免。

2) 保険料(税)の収入減を理由にした減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

世帯主及び世帯員(被保険者)の前年所得の合計額が300万円以下の世帯の世帯主又は世帯員が失業又は事業の休廃止をし、本年の世帯の所得見込合計額が3割以上減少すると認められる場合、所得の減少割合に応じた減免割合で所得割・均等割を減免。

③資格証明書 ※2012年8月1日現在でご記入ください。

- 1) 資格証明書は交付していますか。 ( ) 交付していない (○) 交付している → ( 3 ) 世帯
- 2) 資格証明書を交付している場合、交付に当たっては、面接を実施していますか。  
(○) 必ず面談している ( ) 面談がなくても交付する場合がある ( ) その他
- 3) 資格証明書交付世帯のうち、高校生世代以下の子どものいる世帯数・子ども数  
世帯数( 0 ) 世帯 内、乳幼児( ) 人、小学生( ) 人、中学生( ) 人、高校生世代( ) 人  
上記のうち、6か月以上の短期保険証を交付していない資格証明書未解消世帯数・子ども数  
世帯数( ) 世帯 内、乳幼児( ) 人、小学生( ) 人、中学生( ) 人、高校生世代( ) 人
- 4) 資格証明書の交付除外で配慮している点がありますか。  
( ) 国の基準どおり実施している  
(○) 独自に配慮し、次の場合は交付対象から除外している  
(○) 高校生世代以下の子どものいる世帯  
(○) 障がい者・母子家庭等医療費助成制度の対象世帯  
( ) 病弱者のいる世帯  
( ) 次の場合は、交付対象から除外している。

④短期保険証 ※2012年8月1日現在でご記入ください。

- 1) 有効期間別(交付時から有効期限が切れるまで)の交付数  
※資格証明書交付世帯の高校生世代以下の短期保険証は除く  
・1か月以内( 99 ) 人 ・2か月( 1 ) 人 ・3か月( 9 ) 人 ・4か月( ) 人  
・5か月( ) 人 ・6か月( 774 ) 人 ・1年( ) 人 ・その他( ) 人
- 2) 短期保険証発行の基準をご記入ください。

保険証更新時(隔年8月)の初日において、前年度以前に課税された国保税の滞納額が10万円以上あり、個別訪問、電話催告、文書勧告を行っても納付に応じない世帯。

- 3) 短期保険証について、有効期限以外に特別な表示をしていますか。  
(○) 通常の保険証と同じ  
( ) 通常の保険証と区分している → 表記している文字・マークなど( )

⑤保険料(税)滞納者への差押えについて(2011年度)

- 1) 予告通知書の発行( ) 件
- 2) 差押え件数 不動産( 2 ) 件 預貯金( 2 ) 件 生命保険( ) 件(内学資保険( ) 件)  
その他( 4 ) 件( )
- 3) 競売などによる現金化 ( ) 件 ( ) 円

⑥国保加入者だが、保険証・短期保険証・資格証明書が届いていない人数をご記入ください。

※2012年8月1日現在でご記入ください。

- 1) 交付した保険証・短期保険証の留め置き人数 ( ) 人
- 2) 保険証・短期保険証・資格証明書のいずれも交付していない未交付人数 ( 135 ) 人
- 3) その他

⑦国民健康保険法第44条の一部負担減免制度について

- 1) 一部負担減免制度を実施していますか。  
(○) 実施している ( ) 検討中である ( ) 実施の予定がない
- 2) ある場合、生活保護基準を目安にした減免基準を設けていますか。  
(○) 設けている ( ) 検討中である ( ) 設けていない
- 3) 2011年度の減免件数 ( 0 ) 件 減免金額 ( ) 円

⑧国保運営協議会について

- 1) 運営協議会の公開 (○) 公開していない ( ) 公開している
- 2) 運営協議会委員の公募枠 (○) ない ( ) ある → ( ) 人

5. 障がい者施策

①訪問系各サービスの支給状況について(8月時点)

最多支給時間は8月の1カ月。平均時間は1カ月あたりでご記入ください。

	支給者数(人)	最多支給時間数(時間)	平均支給時間数(時間)
居宅介護	107	80	18
重度訪問介護	0	0	0
行動援護	0	0	0
同行援護	2	17	13.5

②地域生活支援事業の移動支援

支給者数( 122 )人 最多支給時間数( 200 )時間 平均支給時間数( 28 )時間

③訪問系サービスの支給基準 ( )あり (○)なし

6. 健診事業 ※2012年度の実施状況をご記入ください。

①実施方式・各方式での自己負担金と毎年受診の可否

健診(検診)の種類	実施方式	個別方式		集団方式			
		自己負担	毎年受診	自己負担	毎年受診		
特定健診	個別・集団	無	可・不可	無	可・不可		
がん検診	胃がん	個別・集団	無	可・不可	無	可・不可	
	大腸がん	個別・集団	無	可・不可	無	可・不可	
	肺がん	個別・集団		可・不可	無	可・不可	
	子宮がん	個別・集団	無	可・不可	無	可・不可	
	乳がん	超音波	個別・集団	無	可・不可		可・不可
		マンモグラフィー	個別・集団	無	可・不可	無	可・不可
	前立腺がん	個別・集団	無	可・不可		可・不可	
歯周疾患	個別・集団	無	可・不可		可・不可		

②40歳未満の住民を対象にした一般健康診査について

(○)実施している → 健診内容 (○)特定健診と同じ ( )特定健診とは異なる  
( )実施していない

③歯周疾患検診の対象年齢・回数

( )節目年齢に限定せず毎年受けられる ( )40・50・60・70歳の年に受けられる  
(○)その他(20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の年齢)

7. 任意予防接種の助成 ※助成を実施または予定している自治体のみご記入ください 健康課

ワクチンの種類	対象	助成額 (1回)	自己負担 (1回)	助成開始または 開始予定年月
Hib	2か月～5歳未満	8,852円	0円	H23.2
小児用肺炎球菌	2か月～5歳未満	11,267円	0円	H23.2
成人用肺炎球菌	満70歳以上	2,000円	医療機関毎	H22.6
HPV	中学1年生～高校1年生	15,939円	0円	H23.2
みずぼうそう		円	円	
おたふくかぜ		円	円	
ロタウイルス		円	円	
B型肝炎ウイルス		円	円	

## 8. 生活保護

### ①生活保護の申請件数とその保護件数について

2010年度相談件数 ( 108 ) 件、申請件数 ( 39 ) 件、そのうち保護開始件数 ( 31 ) 件  
 2011年度相談件数 ( 67 ) 件、申請件数 ( 28 ) 件、そのうち保護開始件数 ( 22 ) 件

### ②生活保護担当職員について

2010年4月1日現在 正規職員 ( 2 ) 人 → 生保担当の平均在任年数 ( 1 ) 年( 0 ) カ月  
 非正規職員( 0 ) 人

2011年4月1日現在 正規職員 ( 3 ) 人 → 生保担当の平均在任年数 ( 0 ) 年( 4 ) カ月  
 非正規職員( 0 ) 人

2012年4月1日現在 正規職員 ( 2 ) 人 → 生保担当の平均在任年数 ( 2 ) 年( 0 ) カ月  
 非正規職員( 0 ) 人

### ③1職員当たりの担当受給者数

2010年4月1日現在( 40 ) 人 2011年4月1日現在( 38 ) 人 2012年4月1日現在( 61 ) 人

### ④生活保護窓口等への警察官OBの配置について

警察官OBの配置ありますか ( ) がある ( ) ない

「ある」場合 配置している人数( ) 人 ※今年度の人数をご記入ください

配置を開始した年月( ) 年( ) 月

その職員が担当している業務( )

「ない」場合 今後の計画は( ) ない ( ) ある ( ) 検討中

計画が「ある」場合の配置予定時期と人数( ) 年 ( ) 月( ) 人

## 【3】国または愛知県に対して既に意見書・要望書を提出している項目と提出年月日を教えてください。

※2011年9月以降の提出分をご記入ください。

	意見書・要望書の種類	提出年月日
国	①「最低保障年金制度」の創設を求める意見書・要望書	年 月 日
	②介護保険の改善を求める意見書・要望書	年 月 日
	③国民健康保険への国庫負担の増額などを求める意見書・要望書	年 月 日
	④子どもの医療費無料制度の創設などを求める意見書・要望書	年 月 日
	⑤障がい者施策に適切な補助などを求める意見書・要望書	年 月 日
	⑥医師・看護師の確保などを求める意見書・要望書	年 月 日
	⑦消費税率引き上げ・増税反対に関する意見書・要望書	年 月 日
	⑧社会保障と税の一体改革関連法の中止を求める意見書・要望書	年 月 日
県	①福祉医療制度存続・拡充に関する意見書・要望書	年 月 日
	②福祉給付金のひとり暮らし非課税者に関する意見書・要望書	年 月 日
	③精神障がい者の医療費助成制度を求める意見書・要望書	年 月 日

## 【4】次の資料(各1部)の添付をお願いします。

- ①介護保険に関する条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)
- ②アンケート【2】1の⑬の「たまり場助成」の条例・要綱(昨年と同じ場合は結構です)
- ③アンケート【2】1の⑭の「障がい者控除の申請」に関する広報の写し・案内文書
- ④就学援助に関する父母向けの案内文書(昨年と同じ場合は結構です)
- ⑤国保保険料(税)減免事由別の適用件数・金額一覧(2011年度)
- ⑥国保一部負担金の減免に関する条例・要綱 (昨年と同じ場合は結構です)
- ⑦アンケート【3】に関する国または県に提出した意見書・要望書の写し(2011年9月以降の提出分)

☆ご協力ありがとうございました